

神戸市職員 採用ガイド



職員採用ホームページ

市政・仕事紹介、プロジェクト紹介、
ワークスタイル、試験内容などを掲載しています。



神戸市職員採用X

@kobe_saiyou

試験や説明会など、神戸市職員採用に関する情報をお知らせしています。

神戸市人事委員会

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館22階

TEL: 0570-083330 (または 078-333-3330) FAX: 078-333-3314 (神戸市総合コールセンター)



2024年2月発行

MESSAGE

海、山、街。 神戸の全部が、 仕事になる。

日本に新しい文化を運んできた神戸の海。
日々の生活を豊かにする神戸の山。
多様な文化が共存する神戸の街。

神戸の全部が、私たちの仕事です。
あなたが輝ける舞台が、この街にはたくさんある。
社会人の一歩目を、この神戸で一緒に踏み出しませんか。



神戸は日本を代表する大都市であり、市街地から至近の場所には六甲山や里山・農村地域が広がり、穏やかな瀬戸内海に面するなど、豊かな自然環境にも恵まれたまちです。また、明治の開港以来、新しい気風や多彩な文化を取り入れながら、神戸独自のブランドを確立し、国際都市神戸として発展を遂げてきました。

そのような中、新型コロナウイルス感染症に伴う危機を乗り越えた一方で、従前から存在していた少子高齢化や東京一極集中などの課題を踏まえ、より一層人口減少時代に対応した政策を展開することが求められています。

神戸市では、人口減少幅を抑制する取り組みとして、若年代にとって魅力的なまちであり続けるよう、切れ目ない子育て支援をはじめ、スタートアップ施策や企業誘致といった魅力的な産業創出、郊外拠点駅周辺のリノベーションなどによる暮らしの質の向上、都心三宮・ウォーターフロント再整備など非日常のわくわくするような都市空間形成といった施策を強力に推進しています。

また、神戸空港は国際化に向けて動き出し、2025年には国際チャーター便の運用が始まります。国際定期航路を持つ神戸港に加え、新たに神戸空港が国際空港となることで、今までに増して海外に開かれたまちになります。神戸市が目指す、国内外に貢献し、市民が誇りを持てる「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向け、全力を尽くしてまいります。

社会情勢が大きく変化していく中で、今、行政に求められていることは、進化するテクノロジーを取り入れながら、市民の声を敏感に受け止め、練り上げた政策を適切かつ迅速に判断・実行し、分かりやすい情報発信を行っていくことです。そのために、やる気と可能性に満ち溢れた皆さんの新しい力を必要としています。

神戸には、皆さんの活躍のフィールドが広がっています。神戸のまちを、そして神戸の未来を、共に創っていきましょう。

神戸市長
久元 喜造



PROJECT

主要プロジェクト



#1

バランスの取れた まちづくり

Q. バランスの取れたまちづくりとは？

人口減少時代においても、ずっと住み続けたいまちづくりを目指し、都心・三宮再整備や郊外の拠点駅のリノベーションなど、魅力的なまちづくりを進めています。

A. 三宮クロススクエアの整備

都心・三宮再整備では、海と山に囲まれ、駅とまちが近いという立地条件を活かした「美しい港町・神戸の玄関口」をコンセプトとして掲げ、広く豊かな屋外空間を沿道建築物と一体となって整備することで、密を避けながら安心して駅から周辺エリアへ回遊していただける「歩いて楽しい“人が主役”の居心地の良いまち」を創出していきます。

三宮周辺に分散する6つの鉄道駅やバスの乗降場などとまちを繋ぐ空間を「えき=まち空間」とし、三宮交差点を中心にフラワーロードと中央幹線の一部を人と公共交通優先の空間「三宮クロススクエア」として整備します(2029年度完成予定(東側・第1段階))。三宮駅前に居心地のよい空間をつくりだす、都心再整備の中核を担う重要なプロジェクトです。



A. 新バスターミナル1期ビル

西日本最大級となるバスターミナルの整備を進めており、1期ビルは2027年12月に完成予定で、バスターミナルの他にも、ホールや図書館、ホテル、オフィスなどをあわせた複合ビルになる予定です。2029年度に完成予定のJR三宮新駅ビル等とつなぐ歩行者デッキを整備することで、施設間をスムーズに行き来できます。



A. 郊外の拠点駅のリノベーション

「駅」は、地域のたたずまいや雰囲気を印象付ける「顔」となる大切な空間です。鉄道に沿ってまちが形成されている神戸のまちの特徴を活かし、駅を中心に、まち・くらしの質を高めるプロジェクト「郊外の駅周辺のリノベーション」を進めています。

駅前広場の再整備(一部、芝生化やライトアップなど)だけでなく、図書館やホール、商業施設のリニューアルなど、立ち寄りたくなる、時間を過ごしたくなる駅前空間を創出します。また、くらしの中で大切な「働く」にも着目し、郊外における職住近接のライフスタイルの実現を応援する「地域の働く場」の整備にも取り組んでいます。



INTERVIEW

職員インタビュー

「人が主役の居心地の良いまち」
を創出します。



都市局都心三宮再整備課
平成28年度入庁(大学卒・土木)
(※令和3年度時点)

IWASAKI KATSUNORI
岩崎 克倫

三宮は、海と山に囲まれ、駅とまちが近いという恵まれた立地条件にありますが、「複数の交通機関の乗り換え動線がわかりにくい」「駅からまちへのつながりが希薄」「玄関口にふさわしい特色ある景観がない」といった課題があります。これらの課題を解決することで、駅から周辺エリアへ回遊できる「人が主役の居心地の良いまち」を創出していきます。

SCHEDULE



すべては利用する皆さんに喜んでもらうため

乗り換え動線の改善や拡充、新たにできるバスターミナル周辺でのバスと歩行者の分離、「えき」と「まち」をつなぐ歩行者の回遊性を目的とした歩行者デッキの整備を担当しています。デッキのデザインは新たな神戸の玄関口にふさわしいものとするために、2020年10月から2021年5月にかけて設計競技を行いました。そこで選定された最優秀デザインの実現に向けて設計や調整を行っております。調整は大変ですが、できあがった時に皆さんに喜んでもらえる姿を想像するとやりがいを感じます。



より多くの人を笑顔にできる まちづくりに携わりたい

まちづくりを通して、多くの人を笑顔にしていきたいと思い神戸市への入庁を希望しました。また、自分の手がけた仕事が形になって残ることが土木の仕事の醍醐味です。三宮再整備は、特に複数の事業計画が同時に進んでおり、調整が多く、やりがいがあります。駅を出た瞬間、人々が自然とまちへと誘われる「美しい港町・神戸の玄関口」の実現に貢献したいと思っています。





#2

SDGs貢献都市 神戸

INTERVIEW

職員インタビュー



SDGsへの貢献は
「里山」の再生から

都市局用地活用推進課
平成21年度入庁(高校卒・一般行政)
(※令和5年度時点)

SAKUDA HIKARU
作田 光

Q. 海と山を未来につなぐには?

海と山、豊かな自然に囲まれたまち、神戸。先人たちの思いを受け継ぎ、新たな発想で挑み、グローバル社会に貢献します。

A. 生物多様性を守る

私たちは、多種多様な生きものと関わりながら、様々な自然の恵み享受着して生活しています。しかし、昨今、長い年月をかけて培われてきた自然の恵み、その基盤となる生物多様性が脅かされつつあります。

そのため、神戸市では、生きもののお宝庫である里山の保全・再生、外来生物の防除や「外来生物展示センター」における普及啓発、希少種の保全、子どもたちへの環境教育など、生物多様性を守り育てるための取り組みを進めています。



A. 里山の活用

神戸市には、市街地近郊に里山や農地など豊かな自然が数多く残されていますが、長年手付かずとなり、放置された里山林も少なくありません。このような状況を解消改善するため、地域住民や民間企業、学生との協働による里山林整備や自然体験イベントなどをを行い、里山の魅力発信や新たな担い手の参画を促す各種の取り組みを進めています。



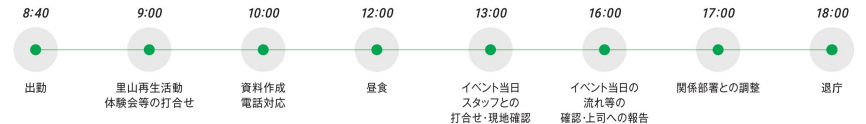
A. リン資源を下水から再生

下水から人間がし尿として排出したリンを回収した「こうべ再生リン」。そのリンを原料とした「こうべハーベスト肥料」で米や野菜を育て、再び食糧に戻るという資源循環の取組みを推進。小学生にこの取組みの説明や育てた作物の収穫体験といった食育・環境教育も行なっています。肥料会社・大学・生産者・神戸市等によるコンソーシアムを設立。「こうべ再生リン」を配合した新たな肥料の開発と農産物の付加価値向上の実証試験に取り組みます。



地下鉄「名谷」駅から南に2キロメートルほど行ったところに、「多井畑西地区」と呼ばれる山林・田畑が広がっているエリアがあります。住宅地に囲まれ、広さは約72ヘクタール。もともとは旧住宅・都市整備公園(現在のUR都市再生機構)が住宅開発を行うために所有していましたが、開発の断念により、最終的にその約4割にあたる29ヘクタールの土地が神戸市に譲渡されました。私たちは、この都市から身近な自然環境の中で、地元の住民だけでなく、関心を示す民間企業にも参加いただき、さまざまな社会実験をはじめ、SDGsへの貢献が求められる中、この残された貴重な自然を生かした「都市型里山」を目指して、さまざまな活動に取り組んでいます。

SCHEDULE



自然の保全を民間企業のCSR事業に

土地が譲渡された3年ほど前は、このエリアの里山保全に取り組むことについて、なかなか理解してもらえずに苦勞したと過去の担当者から聞いています。ですが、対話やさまざまなイベントを通じて、近隣にお住いの方や、地元の方々も徐々にご協力いただけるようになりました。また、CSR事業の一環で、里山の保全活動に従業員が参加してくださる民間企業も増えつつあります。保全活動では、竹の伐採体験や、伐採した竹を使ってご飯を炊いたりしていますが、大自然の中での慣れない作業が新鮮なようで、皆さんの笑顔を見るのがとても楽しみです。



将来の姿をこれから組み立てていくおもしろさ

すぐ近くには小学校やショッピングモールがありますが、この地区にはフクロウやキツネがいます。タケノコを掘ったり、間伐した竹を使って竹炭をつくったり、田畑を活かせば体験農園もできるかもしれません。開発の断念によって残されたこのエリアをどうしていくのか。地区の将来像はあるものの、まだまだ担い手が足りません。ですが、新たなステークホルターを探していく事がこの仕事のおもしろさでもあります。保全活動や自然体験イベント自体はそこまで大きなインパクトはありませんが、それらを積み重ねていくことで、将来の姿が見えてくるのではと感じています。



「共働き子育てしやすい街ランキング2023」関西1位 (EBC/PRM+)

神戸は、もっと子育てしやすい街へ



#3

もっと子育て しやすい街へ

Q. 神戸がもっと子育てしやすい街になるには？

神戸市では、妊娠・出産期から学齢期までライフステージに応じた切れ目のない支援を充実・提供し、誰もが安心して子どもを産み育てる街の実現を目指しています。子育ての中の方のもとより、子育てをしていない方も含め、「みんなで子ども子育てを応援する街へ」との思いを込めて、「こどもっとKOBE」のロゴマークを作成し、統一感のある親しみやすい広報展開にも取り組んでいます。

A. 出産前から赤ちゃんのご家庭をしっかりサポート

生まれてくる赤ちゃんとお母さんの健康を守るために、経済的な負担を心配することなく妊婦健康診査を受けていただくために12万円まで助成しています。妊婦の外出・移動を支援するタクシー利用助成や、産前産後の家事や育児の支援・助言をしてくれるヘルパー派遣も実施しています。

さらに、助産師による訪問や助産所等での宿泊・通所サービス「産後ケア事業」では、お母さんに産後の心身を休めていただきながら授乳や沐浴など赤ちゃんのお世話を助産師などの専門家に相談することができます。



Photo by Aya Morioka ©2022 Ouchi Studio KOBE

A. 働くことと子育てを両立できる環境づくり

共働き世帯が増えるなど保育ニーズの高まりを受け、神戸市では、保育施設の整備や保育人材の確保などに取り組み、5年間で約4,000人の保育定員の拡大を行うことで2年連続「待機児童ゼロ」を達成しています。また、小学生が利用する学童保育についても整備を進め、希望する対象者を全員受け入れ、待機はありません。

さらに、子ども連れで利用できる coworkingスペース「あすてっぷ coworking」では、無料の一時保育やキッズスペース、個室型ワークブースをご利用いただけるほか、スキルアップセミナーやキャリア相談などのサービス、利用者同士の交流会も行っています。



A. 雨の日でも無料で遊べる施設やこどもの居場所を充実

リニューアルオープンした「こべっこランド」をはじめ、ボルダリングやアスレチックなど大型遊具で元気いっぱい体を動かして遊ぶことのできる「こべっこあそびひろば(市内3か所)」を整備しています。また全ての区に、0~2歳のお子さんがいる保護者が気軽に立ち寄り交流ができる「おやこふらっとひろば」があり、さらに身近な場所にある児童館は市内120か所と全国で2番目の多さです。安心して子どもたちが遊べるだけでなく、子育て相談や親同士のつながりができる場づくりをしています。

主に小・中学生の子どもたちが、身近な場所で友達や地域の人とご飯を食べたり、勉強の見守りをしてもらったり、安心して過ごすことができる「こどもの居場所」を市内301か所(2023年12月末時点)で実施しています。



INTERVIEW

職員インタビュー

「全ての子どもたちの未来を応援するために」



こども家庭局こども未来課
平成25年度入庁(大学卒・総合事務)
(※令和5年度時点)

YAMAKAWA NAO
山川 菜央

「全ての子どもたちの未来を応援」するための施策の立案、推進を目的に2021年度に新設されたこども未来課に所属しています。子どもたちが抱える悩みや困難は、多種多様であり複合化・複雑化しています。地域の取り組みと連携しながら、子どもたちや保護者がひとりで抱え込んでいる悩みや困難をすくいあげ、改善、解決に導く支援につなげていきたいと考えています。

SCHEDULE



地域の思いを子どもたちへの支援につなげる

さまざまな困難を抱える子どもたちへの支援施策として、学習機会が十分に得られていない子どもへの学習支援などの事業に取り組んでいます。これらの事業では、支援活動を行う地域団体に対して、行政として金銭面や運営面の支援を行っています。地域には、子どもたちを応援したいという気持ちを持っている方が多くいらっしゃいますので、そういった気持ちを支援の活動につなげていくことを大切にしていきたいと考えています。活動されている地域の方から、「勉強が苦手だった子どもが毎週学習支援の場に来てくれて」といったお話を聞くことは、私にとってもやりがいにつながっています。



子どもたちの隠れた悩みや困難を拾い上げる

子どもたちの、表に出てきた悩みや困難に対してきちんと対応していくことも大切ですが、それと併せて、隠れているものを拾い上げていくような取り組みも必要です。そのためには、悩みや困難を抱え込んだ子どもたちが、様子の変化に気づける人や相談しようと思える人たちとつながれるようなさまざまな場を提供していくことが重要だと考えています。子どもたちが、生まれ育った環境に左右されることなく、夢と希望を持って生活できるように、地域の力も借りながら、多様な方法を模索していきたいと思っています。



INTERVIEW

職員インタビュー

前例がなければ、 逆に自由な発想ができる？



港湾局振興課
平成30年度入庁(大学卒・総合事務)
(※令和5年度時点)

HARATO TAKEO
原戸 健生

Q. 採用から6年目ですが、 市役所でどんな仕事をしましたか？

最初の仕事は、建設局という部署の予算や議会の対応をとりまとめる経理の仕事です。とにかく覚えることが多くて、基本的なことを勉強するだけでも時間がかかりました。ただ市役所で働いている以上、どこに行っても必要になる知識を一番最初に学べたのは幸せだと感じています。3年前に異動があり今は港湾局で働いています。私の主戦場はこのメリケンパーク、BE KOBE モニュメントが有名で、スターバックスもいつも賑わっていますが、この場所をもっと笑顔でいっぱいにするのが私の仕事です。それともう一つ、ちょうどこれから眺めることになる海上花火イベントも担当しています。コロナ前は例年、8月上旬に大規模な花火大会が開かれていましたが、昨年から猛暑を避けた10月に開かれる5日間連続の花火イベントに姿を変えました。

Q. 仕事でやりがいを感じることはありますか？

2022年から開催している花火イベントは、10分間の本格的な花火を、ポップスやジャズなどいろいろな音楽と競演させるもので、毎日1.5万人ほどの来場者があります。はっきり言って、準備は大変でした。コロナ前の例年の花火イベントの資料は残っているのですが、音楽と花火をどうやって合わせるのか、5日間のプログラムをどうするのかは、花火師さんを含む関係者らと相談しながら、進めなければなりません。でも、最後は「前例がなければ、逆に自由にできる」と割り切りました。イベント当日、このメリケンパークに私はいました。最後の花火が打ち上がったあとに、観客たち全員が拍手をします。感動した気持ちを表しただけなのですが、私には自分への感謝の拍手のように感じられ、目目が熱くなりました。

Q. 海、山、街の全てが仕事になるといえるのはどう思いますか？

あ、それならつい最近、体験しましたよ。メリケンパークの平日の夜がさみしいという声があったので、それなら「焚火(たきび)」をしましょうと、私は職場で提案したんです。実はメリケンパークは火気厳禁ですが、焚火をしたいという人たちがいたんです。なので、安全性を確保できるか実証する実験的なイベントを一度やってみようと思いつきました。ところが、焚火をするのに「薪(まき)」がいます。すると、環境局の職員から北区の里山に切り倒した大木があるので、薪割を手伝ってくれたら帰っていいよと連絡がありました。これはチャンスと自分で薪割の機械を操作して、たくさん薪を手に入れました。本番に向けて今から楽しみにしています。山で手に入れた材料で、海と街に囲まれたメリケンパークでイベントをする。キャッチコピーどおりですね。

Q. 民間企業を就職先と考えている学生にもし声を掛けるなら？

公務員は「お堅い仕事」をするイメージがあります。何かルールがあってその通りに立ち振る舞いをしないといけないような。ですが、私のような若い職員が提案したことが、スツと承認されて、実現することもあります。神戸市は大企業よりずっと柔軟ではないでしょうか。もちろん上司に恵まれているとは思いますが、あと、神戸市は異動により、退職するまでに様々な業務を幅広く経験すると、大学生のときから聞いていました。実際に働いてみると、そのとおりです。でも、様々なことに興味をもって、すぐに没頭する私の性格にはぴったりでした。これまで、局の予算・決算・会計検査総括、花火イベントなどウォーターフロントの賑わいづくりなどの業務を経験してきました。今後は、国際的な大規模イベントの誘致・開催などの業務にも携わってみたいと思っています。様々な業務を経験でき、新鮮な気持ちで働き続けることができる環境は神戸市ならではではないでしょうか。

キャリア紹介

平成30年度
建設局総務課

建設局の予算・決算・会計検査総括

令和3年度
港湾局振興課

花火イベントなどウォーターフロントの賑わいづくり

今後のキャリアプラン
国際的な大規模イベントの誘致・開催をしてみたい

彼が指名したインタビュー場所は、メリケンパークにあるスターバックスの前。そこが職場だと言うのです。市役所の職員たちは、彼のことを「花火担当」と呼んでいます。



福祉局高齢福祉課
平成29年度入庁(大学卒・総合事務)
(※令和5年度時点)

ARIMA MINORI
有馬 実梨

政令市だから 得られる経験とは？

キャリア紹介

平成29年度
中央区生活支援課

生活保護のケースワーカー

令和2年度
福祉局高齢福祉課

認知症神戸モデルをはじめとした認知症施策の運営

今後のキャリアプラン
福祉以外の分野にもチャレンジし、幅広い業務を経験したい

プライベートでは、パンやお菓子づくりを楽しんでいて、次はカレット・テ・ロワに挑戦したいと話す彼女。どんな仕事をしているのかを聞いてみました。

Q. これまでどんな仕事をしましたか？ これからやりたい仕事は？

最初の配属は区役所で「ケースワーカー」でした。生活保護受給者の困りごとの相談に乗るような仕事です。病気や障害を抱えている方、一人暮らしの高齢者などのご自宅に足を運び、毎日顔を合わせました。今は、同じ福祉分野ですが、「認知症神戸モデル」と呼ばれる制度の運用を担当しています。この制度は、認知症の疑いのある方に早めに受診いただき、早めの対応につなげるとともに、万が一認知症の方が事故を起こしたときに被害者などを救済する制度で、神戸市が2019年からスタートさせました。今の仕事も前向きに取り組んでいますが、公務員は様々な業務に携われることが魅力の1つなので、次は空き家対策や三宮再整備、あるいは市の広報のようなガラッと雰囲気が変わる仕事にも挑戦してみたいと考えています。

Q. 今の仕事ではやりがいを感じますか？

実は、仕事をする中で認知症の方やその家族と直接お会いする機会は、ありません。ですが最近、認知症支援の仕組みを説明するガイドブックをリニューアルしました。そのときに、認知症の方や家族を支援している方にどうすれば分かりやすいのかを聞いて、市役所内の専門部署にデザインや文章を相談しながら、できるだけ読みやすいものにしたいと製作しました。すると、これを配布している区役所や地域の拠点から、期に置いていくとすぐになくなってしまいうので100部単位で送ってほしいと連絡がありました。あるいはウェブサイトのPDF版を見た方が電話をしてくて、分かりやすかったので、家に一部置いておきたいと要望があったのです。苦勞しただけに、とてもうれしかったですね。

Q. 神戸市役所で仕事をしようと思ったのはいつからですか？

姫路に住んでいたのが神戸は憧れの場所でした。高校のときも新快速でよく遊びに行っていましたね。大学が神戸だったので、市内で一人暮らしを始めると、さらにたくさんの魅力を見つけました。神戸市役所への就職も考えたことはあるのですが、中核市と政令市を比べると、政令市のほうが仕事の幅が大きいと思いました。例えば、私が担当する「認知症神戸モデル」は、この制度を運用していくためにかなりの予算が必要になります。そこで神戸市は個人市民税に400円を上乗せすることで、神戸に住んでいる人たちに広く負担してもらいながら運用している大がかりな制度なんです。なので、全国の自治体からとても注目されており、他都市からの問い合わせがあとを絶えません。神戸市役所で働いているからこそ、こんなふう全国的にも一歩先行く業務に携われているのだと感じています。

Q. 民間企業でなく市役所を選んだ理由を教えてください。

大学生のときから、将来、結婚や出産、子育てといったライフイベントがあったとしても、神戸で働き続けたいと考えていました。ですが、民間の大企業であれば、転動がないのはエリア職になり、仕事の範囲が限定されがちです。神戸市役所であれば、ずっと神戸で働き続けられると考えていました。さらに文系だったので、専門分野や得意なことが何か、自分で限定できませんでした。そう考えると、幅広く様々な仕事を任せてもらえる地方公務員という仕事が、私にとっては魅力的に感じました。もちろん、これまで経験したことのない業務を一つから覚えるのは大変です。しかし、ケースワーカーの仕事も認知症神戸モデルの仕事も、今となっては大きな経験になっています。



WORKS

お仕事紹介

※所属は令和3年度時点

詳しい情報は
WEBサイトへ



仕事を始める前と後、 印象は変わった？



都市局景観政策課
令和2年度入庁(大学卒・建築)
(※令和5年度時点)

SAKATA CHIHO

坂田 知穂

キャリア紹介

令和2年度
都市局景観政策課

中央区のまちづくりを担当、
三宮再整備に関わることも。

今後のキャリアプラン
営繕や建築行政などの異なる分野も経験したい。
将来的には、大学時代に研究していた
まちづくり分野に再度携わりたい。

岡山出身だが、建築やデザインを志して選んだのは神戸の大学だった。やがて、気づかないうちに神戸の街のとりこになった、という彼女に聞いてみた。

Q. 市役所の仕事は、 学生時代のイメージと違っていましたか？

大学院の修士課程で建築やデザインを専攻しました。建物のデザインを工夫すれば、エリア全体の魅力を高められるということ学んだので、そんな仕事をしたいと思って、「景観政策課」に配属されました。名前だけみると希望どおりの職場でした。ところが、仕事の中身は学生時代にイメージしていたもの大いぶ違っていました。ずっと複雑で、奥が深いモノだったのです。私の担当は、これからバスターミナルやJRの駅ビルができていく三宮というホットなエリア、民間企業のビルの建設計画をつくるときにデザイン面からの助言をするのですが、例えば、三宮と旧居留地では、距離は近いのに街の特色がかなり違うので、異なった助言になるのです。あと、私たちの一存ではなく、大学教授や実務経験のある専門家の話を聴きながら進めます。建物の形を少し変えるだけでも、関係者が大勢いて、かなり奥が深い仕事だと感じています。

Q. 仕事はおもしろいですか？ やりがいを感じるのでしょうか。

法律や条例に基づいた法的強制力のある規制を行う業務もあるのですが、私が今やっている仕事は、それとは違います。あくまで民間事業者の動きを誘導するものです。実は、地域によっては、住んでいる人やお店をやっている人たち自身で、屋外の広告や夜間の照明のルール・建物のルールをつくっています。街への熱い思いの表れですね。でも、法律のような明確なルールというわけではありません。例えば、「風格がある」とか、「この街の個性に合わせた」という決まりなので、人によってOKなものNGなものになったりします。そんな話を聞きながら調整をします。「調整」というと、きれいに聞こえますが、実際に丁々禁止のやり取りで互いの妥協点を探りだすものです。そんなときこそ仕事をしているという実感がありますね。これがもしかすると「やりがい」なのかもしれませんね。

Q. 海、山、街がある神戸を舞台に働くという意味は？

高校まで岡山で、大学が神戸でした。そのときに神戸の海・山・街の魅力のとりこになってしまいました。東京や大阪に比べるとこじんまりしています。もし空から神戸を見ることができれば、元町・ハーバーランド・山本通・岡本・阪神といった、小さな個性ある街が降り合っている。それを海と山が囲んでいる。そんなふうに見えるのではないだろうか。この街を暮らすやすく、楽しめるように、海と山といった自然の景色を守るのが私の仕事です。とても満足しています。ただ、建築の勉強をしたので、どこかのタイミングで法律による規制をする部署に配属されると思います。そういう仕事にも挑戦して、多角的に街を眺められるようになりたいです。

Q. 民間企業でなく自治体で働く魅力を教えてください。

建築が好きだったので、就職先は民間企業も良いと考えていました。本当に最後の最後まで悩んでいましたね。住宅メーカーからも内定をもらっていたので、でも行政を選んだのは、いろんなことに携われるのではと考えたからです。民間だと単体の建物をつくって終わりです。ところが、行政であれば街全体を見る。もっと視座の高いところから仕事ができます。特に担当している中央区では三宮再整備など高層建築の計画が複数あります。各建物のランドマーク性も一定重要ですが、街全体で見た際の連続性や調和も考慮して、地域特性に合わせた神戸らしい景観形成を目指して誘導を行っています。実際入庁してみて、私の選択は間違っていなかったと思っています。



総合事務

皆さんに身近な区役所の仕事や観光、産業振興、まちづくり、福祉関係のほか、市全般に係る施策の企画・調整など、業務内容が大きく異なる様々な部署を異動し経験を積むことで、様々な局面に対応できる幅広い知識・技術を習得できる点が特徴です。

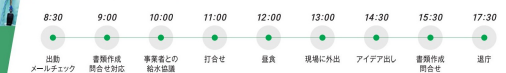


東灘区まちづくり課 平成28年度入庁(大学卒)
高原由紀

東灘区の伝統文化である「だんじり」の大規模な運行など、地域団体が実施するイベントや地域の課題解決に向けた取り組みへの支援に携わっています。地域の方々ややりたいことや解決したいことをその思いとともに汲み取り、それをどのように支援できるかを考えながら、仕事に取り組んでいます。まちづくり課(現・地域協働課)の仕事は地域のさまざまな方と接するいわば区役所の顔。地域でまちを育む方々のさまざまな取り組みへの支援を通して、東灘区がより良いまちになっていく過程に貢献できるような努めをしています。

水道局配水課 令和元年度入庁(大学卒)
川北拓哉

困っている人を幅広い分野で支援できる仕事がかたいと思いき、金融機関から神戸市に転職しました。水道局では、各家に安心・安全な水をお届けするために、水道施設の整備や維持管理を行っています。その中でも、私は、開発事業者に対し給水にかかる調整を行うほか、悪質事業者からの被害を防ぐための広報にも注力しています。市民の暮らしを支えることができる仕事にやりがいを感じています。



福祉

各福祉施策の企画立案、各区保健福祉部における生活保護の決定・実施、児童・高齢者・障害者・生活困窮者等の福祉に関する相談援助業務、こども家庭センター・療育センター・障害者福祉センター等における各種相談業務を行います。



児童福祉司・児童心理司・医師と連携して子どもの健全な育成を支える
市民に寄り添いながら自立に向けた支援を実施

土木

道路や港湾などの「社会基盤整備」や、駅前再整備をはじめとした「まちづくり」といった、神戸市民の生活を支え、神戸の成長を加速させる事業に携わります。具体的には、様々な事業において、発注者として企画・計画段階から、設計・発注、現場での監督・維持管理業務にいたるまで、とても幅広い分野の仕事を経験することができます。また、市民や数多くの関係者の方々と対話しながら、自らの意見を施策や整備に反映できることも大きな魅力です。



駅前空間の高質化
神戸駅前広場(再整備イメージ)



神戸らしさを感じていただく
新ターミナルの整備(外観イメージ)



建築

市民のすまい・まちづくりに総合的に関わるのが主な仕事です。具体的には①市有建築物や市営住宅の企画・設計・工事監理及び維持保全②建築基準法等をはじめとする法令による建築物の規制・誘導や耐震化・バリアフリー化の促進③市民・事業者との協働によるまちづくりの推進や神戸の都市ブランドの向上と人口誘引につながるプロジェクト「リノベーション・神戸」などの取組④空き地地の有効活用などをまいやまちづくりに関する政策立案、相談・情報提供などに取り組んでいます。



神戸らしい魅力あふれる景観を手もり、
そだて、つくる(旧居留地)



将来の神戸市をかたちづくる
海上公園体育館(三宮周辺再整備)



総合設備(電気)

主に上下水道・ごみ焼却等のプラント施設、地下鉄・市バス等のインフラ施設、庁舎・小中学校等の公共建築物など施設設備の計画・設計・工事監理、保守保全、運営等の業務に従事し、行政職員としての総合的な調整力や技術力を活用しながら安全・安心で快適な市民の暮らしを支えています。電気の主な内容は、受変電・発電機・照明・防災・情報・太陽光発電などがあります。



市民の快適な暮らしを支え、
快適な社会をつくるインフラ整備



地域や市民に親しまれ、快適で
利用しやすい公共建築物の整備



総合設備(機械)

主に上下水道・ごみ焼却等のプラント施設、地下鉄・市バス等のインフラ施設、庁舎・小中学校等の公共建築物など施設設備の計画・設計・工事監理、保守保全、運営等の業務に従事し、行政職員としての総合的な調整力や技術力を活用しながら安全・安心で快適な市民の暮らしを支えています。機械の主な内容は、各種プラントをはじめ、空調・給排水・自動制御などがあります。



下水事業等を通じ、エコ時代への
新たな取り組みに挑戦



ごみの焼却で発電した再生可能
エネルギーを市場に供給するクリーンセンター



下水事業等を通じ、エコ時代への
新たな取り組みに挑戦

建設局中部建設事務所 令和元年度入庁 (大学卒)

木村 翠希

道路舗装及び橋梁・横断歩道橋等の維持・補修や道路防災対策に関する工事の発注・監督などの業務を主に担当しています。道路法面や橋梁・立体横断施設・道路照明等の道路附属施設については定期的に点検を行い、その結果から優先度を把握し、計画的に対策及び補修工事の発注・監督を行っています。市民対応の受付線として直接市民の方とやり取りをする機会が多く、市民ニーズが多様化してきているなか、市民のニーズを把握し、道路行政として日々の様々な対応を行うよう努めています。

農業

神戸ビーフをはじめ、ホウレンソウ、キャベツなどの野菜、米、新鉄砲ユリ、イカナゴなどの農水産物の生産振興を図るとともに、食を軸とした新たな都市戦略「食都神戸」の推進や、豊かな自然環境の保全と農村環境の整備などを進め、農村地域へ新たな人を呼び込み、移住・定住につなげる「神戸・里山暮らし」が主な仕事です。



農漁業者と消費者の交流の場となる
ファーマーズマーケット



農村地域の活性化と、
農業の担い手を育成する支援を実施



建築住宅局建築課 令和元年度入庁 (大学卒)

伊藤 詩織

建築課では、区役所・学校・図書館をはじめとする様々な市有建築物の新築や改修に関する計画・相談・調査・設計監理・工事監理を行っています。関係部署とチーム一丸となって神戸市の魅力向上につながる様々な建築物の整備に携われることにやりがいを感じています。

造園/森林

都市公園や街路樹、街かどの緑化・飾花などに関する計画、設計、工事監督、管理、民間指導や支援が主な仕事です。市民や事業者の参画を得ながら、緑やオープンスペースの持つ機能を最大限活かしたまちづくりを進めています。神戸のシンボルである六甲山については、長期的な視点で森林の保全や育成、利活用に取り組んでいます。



神戸の都心・三宮の中心に位置する
「泉園地」のリノベーション



六甲山を美しく健全な状態で
次世代に引き継ぐ六甲山森林整備推進



都市局都心三宮再整備課 令和元年度入庁 (社会人)

佐々木 悠太

都心・三宮再整備という大きなプロジェクトにかかわりたいと思い、神戸市に入庁しました。本庁舎2号館建替や連絡ロビー・エネルギー施設建替の電気に関する工事の設計・発注・監督業務を担当しています。工事だけに留まらず、設備の保守や計画業務など多様な仕事があり、公務員としても技術職としても経験を積み成長することができます。

総合科学(化学)

大きく分けて、上下水道・ごみ処理などの事業系の業務と大気や排水などの監視・規制業務があります。さらに、近年は地球温暖化防止・省エネルギー施策の立案、水処理・廃棄物からの資源回収などに関する民間企業と連携した新技術の開発にも携わっています。



水源地の水質もめりめり
検査しています



工場・事業場の排水の水質規制の
ため立ち入り検査を行います



建築住宅局設備課 令和元年度入庁 (大学卒)

黒田 量久

市有建築物の各種設備の設計・工事監理を担当しています。空調、衛生、ガスなど設備は快適に施設を利用するうえで欠かせないものです。神戸に住みたい、来たいと思ってもらえるようなまちにしたいために貢献したいと考えています。

総合科学(生物・環境)

生物多様性の保全や地球温暖化の防止をはじめ、次世代エネルギーの推進・大気汚染・騒音等の公害対策、ごみの減量や資源化といった廃棄物行政など、環境問題の解決に向けて幅広く取り組んでいます。医療産業に携わる職員もおり、業務は多岐にわたります。



騒音や振動の未然防止や
大気汚染物質の排出規制の推進



環境負荷が少ない多様なエネルギーの
利活用に普及促進



経済観光局北農業センター 令和2年度入庁 (大学卒)

内田 夕貴

神戸市内でも農業が盛んな北区で、特産品である山田錦(酒米)や野菜・花きの生産振興に関する仕事に携わっています。農家の方々との関わりを大切にしながら、特産品のさらなる品質向上や生産強化、地域振興作物の推進により、神戸市の農業の活性化につなげたいと思っています。

建設局北建設事務所 令和元年度入庁 (大学卒)

中尾 航平

管内の公園や街路樹の維持管理、整備が私の仕事です。日々のパトロールや市民の方からの通報を通じて、施設の補修・公園の使い方の検討・樹木の剪定などを行っています。担当する公園は80か所以上あり、公園を管理するボランティアや自治会の方と協力しながら、安全で利用しやすい公園づくりをめざしています。

建設局下水道部計画課 令和2年度入庁 (大学卒)

岸本 純尚

工場や研究所などの事業場に立入を行い、下水道に流れる排水の水質が基準に適合しているかを監視しています。基準を超過した排水が下水道に流れている場合は、適切な排水処理ができるよう指導します。また、新しく工場などを建設する際に提出される図出書類を審査したり、排水処理の方法などを協議することもあります。下水道への悪影響を及ぼす排水の流入を防ぎ、市民の安全を守ることに貢献しています。

環境局環境都市課 令和3年度入庁 (大学卒)

矢指本 哲

市民と協働し、生物多様性を守るための活動に取り組んでいるほか、ヒアリをはじめとする外来生物対策もを行っています。人のせいで失われたところを生態系を守りたいと思入したところ、希望通りの職場に就くことができました。神戸の自然を守るための活動にやりがいを持って取り組んでいます。

総合科学 (獣医・畜産・水産)

生命科学・薬学

飲食店や食品工場、旅館、公衆浴場、ペットショップなどの調査・指導、食品や水質の検査、医療産業に関する業務、環境保全に関する調査・企画、食肉衛生検査、動物園での飼育管理、調査研究、農水畜産行政など、多様な職域のなかで、それぞれが持つ専門性や能力、造性を活かし幅広い業務に従事します。



食の安全・安心の確保に向けた、監視指導・検査の実施



人と動物が共生できる社会づくりのための啓発活動



健康局食品衛生課 平成29年度入庁 (大学卒)

植田 丈

大規模食品工場に立入調査をし、衛生上の不備等がないかをチェック、指導しています。また、食中毒が発生した場合は、被害が広がらないよう、原因の特定を迅速に行っています。市民の皆様が安心して神戸のおいしい食を楽しむよう貢献できていると実感できる仕事です。



消防

消火活動や救急、救助活動はもちろんのこと、台風や地震などの大規模災害に備えて、普段から防災福祉コミュニティと連携した地域防災力の向上に取り組んでいます。また、事業所の自主防火防災体制の強化など、「予防」の取り組みを推進し、「神戸市民の命」と「神戸のまち」を守ります。



神戸の港を守る消防艇



特別高度救助隊が有する重機



須磨消防署消防防災課 令和元年度入庁 (大学卒)

坂本 修乙

火災時の消火活動や救急・救助活動に従事するほか火災の原因調査や建物の点検業務も行っていきます。また、消火活動に欠かせない、区内に1500ある消火栓や、防火水槽の維持管理をしています。人の財産や生命を守る活動に携われることに誇りを感じており今後日々の仕事に励み最高の消防士をめざします。



保健師

神戸市は政令指定都市のため、保健所と市町村保健センターの両方の機能を持っています。保健師は、母子保健、成人保健、精神保健、感染症等の幅広い分野の業務を担っており、全ての市民の健康と命を守ることを使命として保健活動を行っています。



乳幼児の健康保持増進や保護者の育児支援を推進する健康診査事業



地域福祉センターや集会所等において健康教育を実施



須磨区子ども家庭支援課 令和2年度入庁 (大学卒)

林下 菜穂子

母子健康手帳の交付や乳幼児健康診査の実施、各種教室や電話・訪問での相談対応、保健指導を行っています。市民の悩みを真摯に受け止め、一緒に考えながら支援しています。



保育士

神戸市で働く保育士は、保育所での乳幼児の保育、児童発達支援センターでの障害児への療育支援、児童相談所での保育及び支援などを行っており、神戸の子どもたちの明るい未来を支えています。



保育を必要とする乳幼児の健全な心身の発達を支える保育所保育士



子どもの障害や発達の特性に応じた支援を行う療育センター



長田東保育所 平成29年度入庁 (大学卒)

杉本 奈央

現在は1・2歳児の担任として、子どもたちの生活を援助したり、日々の遊びの内容を考え、遊びの援助をしています。子どもたちが保育所でより良く過ごし、成長していけるよう、職員同士日々連携し合って保育をしています。わたし自身が生まれ育った神戸のまちで、神戸の子どもたちの育ちを支える仕事ができることに喜びを感じています。



総合事務(デザイン・クリエイティブ枠)

デザイン・美術・音楽・映像などの芸術分野の素養があり、培った思考などを活かして、神戸市政で活躍できる方を対象とした採用試験です。ただし、デザイナーなどの専門職ではなく、幅広い行政事務全般に関わる「総合事務」での採用となります。ご自身の専門分野の知識・経験が豊富な人に限らず、不得意分野を含め様々な分野に関心がある、好奇心旺盛な方のお申込をお待ちしています。



港湾局振興課 令和3年度入庁(大学卒)

加護野 萌

神戸港や船の仕事にかかわる人材を育成するため、小中学生を対象とした港湾施設の見学や乗船体験プログラムの企画を行っています。既存事業をただやるだけでなく、改善できるポイントはどんどん実行に移すように心がけています。発信の方法を工夫しながら、さらに多くの子どもや学生に神戸港や船の魅力を伝えていきたいです。



採用後の配属

最初の配属先は、政策・企画・経済政策、広報、芸術文化、観光振興、まちづくり関連など、ご自身の素養を活かしやすい部署を想定しています。その後の異動は、本人の適性や希望を考慮して、幅広く行政事務全般に従事いただく予定です。

先輩職員の配属先の例

市長室広報戦略部

神戸市の広報活動の企画／報道機関との連絡

経済観光局観光企画課

観光・MICEの振興に係る総合的な企画調整

環境局環境創造課

環境政策の企画推進・計画／環境教育

各区役所地域協働課

地域組織・NPO支援／まちづくり／地域課題の把握・解決

WORK STYLE ワークスタイル

神戸市の働き方改革の推進

働きやすい市役所が暮らしやすいまちをつくる

神戸市役所では、徹底した市民目線で手続きの簡素化やICTを活用した業務の効率化を進め、それによって生み出された時間やマンパワーを、より付加価値の高い業務に充てることにより市民サービスの質の向上に繋げていきます。



フレックスタイム制

柔軟な勤務形態の選択を可能にするフレックスタイム制を導入、フレックスタイム制の利用により、始業時間を午前7~10時、終業時間を午後3時~午後10時までの中から自由に選択することができます。



育児休業取得の推奨

育児休業に関する職員の不安や疑問、取得の意向などを上司が聞き取り、アドバイスを行うことで、性別にかかわらず誰もが気軽に育児休業を取得できる職場環境づくりに取り組んでいます。



地域貢献応援制度

職員が、自身の知識・ノウハウを活かして地域の課題解決に向け取り組むことなどを目的に、社会性・公益性の高い地域貢献活動に、報酬を得て従事する場合の取扱いを独自に定めました。



上司による仕事と子育ての両立支援

子どもが生まれる職員が、職務における能力発揮・キャリア形成と家庭における子育てとの両立をデザインできるように、上司が当該職員を積極的に応援する取り組みです。



勤務条件・福利厚生はこちら



その他のキャリア形成支援制度はこちら

PERSONNEL DEVELOPMENT and TRAINING 人材育成

多様な研修制度

研修制度においては、OJT・Off-JT・自己啓発の3つの取り組みを効果的に進めることで、職員の能力向上・能力開発・仕事に対する意欲の醸成を図っています。新規採用職員については、研修期間を十分に確保し、職員としての基礎的なスキルの向上や職務内容に応じた研修・OJTによる早期育成に取り組んでいます。また、職員の知識や能力を向上させるため、時間や場所を選ばない学習管理システム(LMS)を利用したeラーニングを導入しています。

		階層別研修(基礎研修)	テーマ別研修	派遣研修	自己啓発支援
主な研修制度	一般職員	新規採用職員研修(第1・2・3部)	政策形成・政策法務・応対・コミュニケーション・文章力向上・SDGs	国内外の大学等への派遣 国等の各種研究機関への派遣 民間企業等への派遣	各種セミナーへの参加支援等
		採用2~5年次職員研修			
		3級昇格時研修			
		4級昇格時研修			
		係長昇任前研修			
	管理職	係長昇任時研修			
		係長研修			
	課長昇任時研修				
	課長昇任2年次研修				
	部長昇任時研修				

OJTとメンター制度

直属上司がOJT指導者となり、実務経験を通して人材育成を行います。また、職場の先輩職員が「新採サポーター」となり、仕事の上での様々なサポートを行うほか、職場外の先輩職員である「メンター」が仕事や生活全般に関する助言や支援を行います。

民間企業等への派遣制度

枠にとらわれない柔軟な発想やスキル、ビジネス感覚、コスト意識を学ぶために、職員を民間企業等へ派遣しています。身につけたノウハウや経験、人脈は市政に還元していきます。



知見を広げ客観的に神戸市を知る良い機会に

谷 紘一郎

企画調整局デジタル戦略部 平成25年度入庁(大学卒・総合事務)
(※令和3年度時点)

クラウド型の業務改善システム「kintone」を販売するサイボウズに1年間派遣され、自治体向けの営業に携わりました。自身の知見を広げ、客観的に神戸市を知る良い機会にもなりました。学びを役立て、今後は市内の業務改善の支援に力を尽くしていきます。

PERSONNEL MANAGEMENT SYETEM 人事制度

人事異動

基本的にはいくつかの特定分野で深い知識と経験を得られるような配属を行うことで、一定の分野に強みを有する行政のプロフェッショナルを養成します。一方で、一定の専門領域においては、長期間に跨るスペシャリストの養成を進めます。また、新規採用職員については、新規採用の配属時及び採用後初の人事異動で本庁及び出先機関・区役所の両方を経験することで、基本的な業務知識や現場対応力を早期に習得することを旨とします。さらに、職員の能力開発、意欲向上を図るため、意向調査フォローアップ面談、庁内インターンシップ制度、庁内フリーエージェント制度、庁内公募制度、専任職制度などを設けています。

庁内公募制度

職員が持つ種々の能力を適材適所で活用・育成することを目的に、対象業務と職員を募集し、配属を決定する人材育成制度です。職員の意欲と能力を職務に反映させることにより、市政への参加意欲の高揚を図ります。



SAGIMORI HIROKAZU

鷲森 弘一

令和元年度入庁(大学卒・総合事務)

庁内公募制度利用時:須磨区まちづくり課
応募先:企画調整局デジタル戦略部

膨大なアナログ作業から職員を解放したい、と応募

入庁後配属された須磨区まちづくり課では、選挙や防災、統計調査事務を担当していましたが、膨大な業務をアナログでこなす仕事の仕方だったため、どうしても効率よく仕事ができるか考える習慣がついていました。DX人材育成コースの庁内公募制度があることを知り、1年でも早くデジタル化のスキルを身につけて効率よく仕事をしたい、そして庁内全体の生産性向上に貢献したいと思い、応募しました。

QUALITIES of IDEAL PERSONNEL 求める人物像

CHALLENGE

チャレンジ精神

チャレンジ精神

社会を変えようという意欲を持ち、困難な仕事にも怯まず、最後までやり切る人

LEADERSHIP

リーダーシップ

リーダーシップ

自ら考え、周囲に働きかけながら、積極的に仕事を前に進めることができる人

DESIGN (CREATIVITY)

デザイン力

デザイン力

豊かな発想や工夫により、仕事をデザイン(創造)できる人